



**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「首都キングストンごみ収集車整備計画」
贈与契約署名式**

2022年3月22日、藤原大使とゴードン事務局長（固形廃棄物管理局）との間で贈与契約書（贈与額210,936米ドル）が署名されました。

藤原大使は挨拶の中で、日本の対ジャマイカ開発協力方針は環境分野を重点に置いており、日本は特に都市環境の持続可能な開発に向けた廃棄物管理のための支援を行っていると述べました。また、藤原大使は、本支援により、固形廃棄物管理局が継続して適性の廃棄物管理を実施し、ジャマイカ国民のために、生活環境が衛生的に保たれることへの期待を表明しました。

本案件は、キングストン県及びセント・アンドリュース県において、小型圧縮機付きごみ収集車2台を整備することで、道幅が狭く、固形廃棄物管理局が保有する大型のごみ収集車が通れない地域のごみ収集状況の改善を図り、もって、ごみ収集率の向上と衛生的な生活環境の改善に寄与することを目的とするものです。

今回の署名式にて、マッケンジー地方政府・農村開発大臣およびヘンリー・マーティン同省次官、固形廃棄物管理局からゴードン事務局長およびマクファーレン事業部長、両団体の関係者、そして報道関係者などが参加しました。関係者からは、安定したごみ収集と衛生環境を維持する重要性について言及されました。



1. 本支援の意義を述べる藤原大使



2. 挨拶をするマッケンジー地方政府・農村開発大臣



3. ゴードン事務局長による挨拶



4. 署名する藤原大使（左）とゴードン事務局長（右）



5. 署名式での集合写真



6. 式典記念撮影
マッケンジー地方政府・農村開発大臣
（左）、藤原大使（中央）、ゴードン事務
局長（右）